

講師：日進市社協 天野典幸

共生の社会づくりについて、大地震発生時の避難所生活で障害者がいた場合  
どう対応したらよいか。訓練講義。

① 想定災害 東海・東南海地震連動

② H26年11月21日(金) 13時30分 駿河湾から土佐湾を震源としてマグニチュード7の  
大規模地震発生。東海地方から西日本の広い範囲で非常に激しく揺れ、日進市では震度  
6弱を観測した。余震が断続的に続いている。  
大学の講義室を避難所に想定し、学生の帰宅困難者と共にどう過ごしていけばお互いに  
安心できるか考えて避難所運営を考えてもらう。

この地震による被害状況を障害者に伝えることを学生にしてもらう。



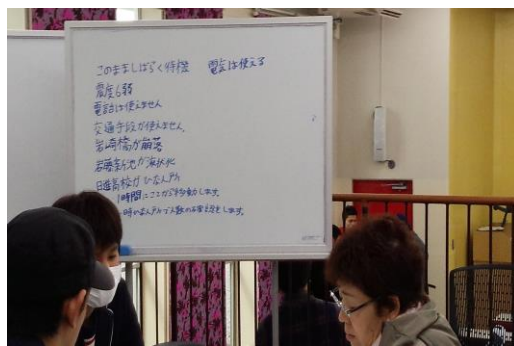
肢体障害者に被害状況を伝える



肢体障害者から質問を受ける



会話困難な肢体障害者に被害状況を伝える



聴覚障害者にはホワイトボードに情報を記載し伝える



視覚障害者に被害状況を伝える



視覚障害者から質問を受ける

学生の声：障害の種類や程度によって、伝える⇔理解する の速さが違うことを改めて実感。

実践する際は、まず避難所に入ったら率先して『障害者の方で困っている方いらっしゃいますか?』と声を掛けすることが大事。どんなこととして欲しいのか、時間をかけて聞いて理解し、共に過ごしやすい避難所にしていくことが大切である。